



# や す

# 市議会だより

No.5

発行日／平成18年2月1日  
発行／野洲市議会  
編集／議会広報編集特別委員会  
〒520-2395  
滋賀県野洲市小篠原2100-1  
TEL (077) 587-6034  
FAX (077) 586-4300

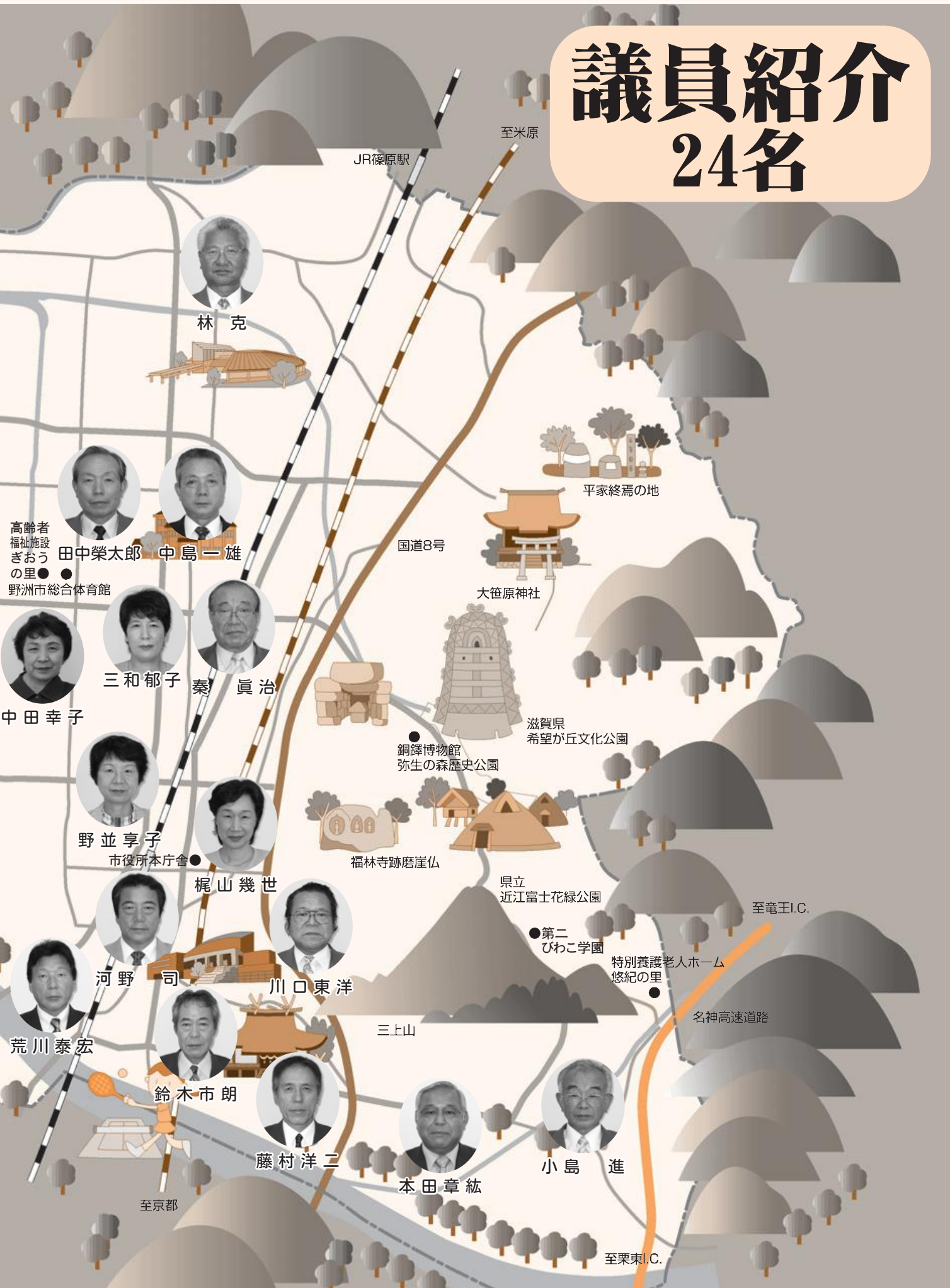


## 第84回全国高校サッカー選手権大会 野洲高校 優勝おめでとう

平成18年1月14日に中央公民館文化ホールにて  
野洲高校サッカー部の優勝祝勝会が開催されました。

- 議員紹介 ..... P 2
- 12月定例会報告 ..... P 4
- 臨時会・常任委員会報告 ..... P 6
- 一般質問 ..... P 8
- 議会の動き ..... P 18

# 議員紹介 24名



林 克

田中榮太郎

中島一雄

高齢者福祉施設  
ぎおうの里 ● ●  
野洲市総合体育館

中田幸子

三和郁子

秦 眞治

国道8号

大笹原神社

平家終焉の地

野並享子

市役所本庁舎 ●

梶山幾世

銅鐸博物館  
弥生の森歴史公園

滋賀県  
希望が丘文化公園

福林寺跡磨崖仏

県立  
近江富士花緑公園

至竜王I.C.

河野 司

川口東洋

第二  
びわこ学園

特別養護老人ホーム  
悠紀の里 ●

名神高速道路

荒川泰宏

鈴木市朗

三上山

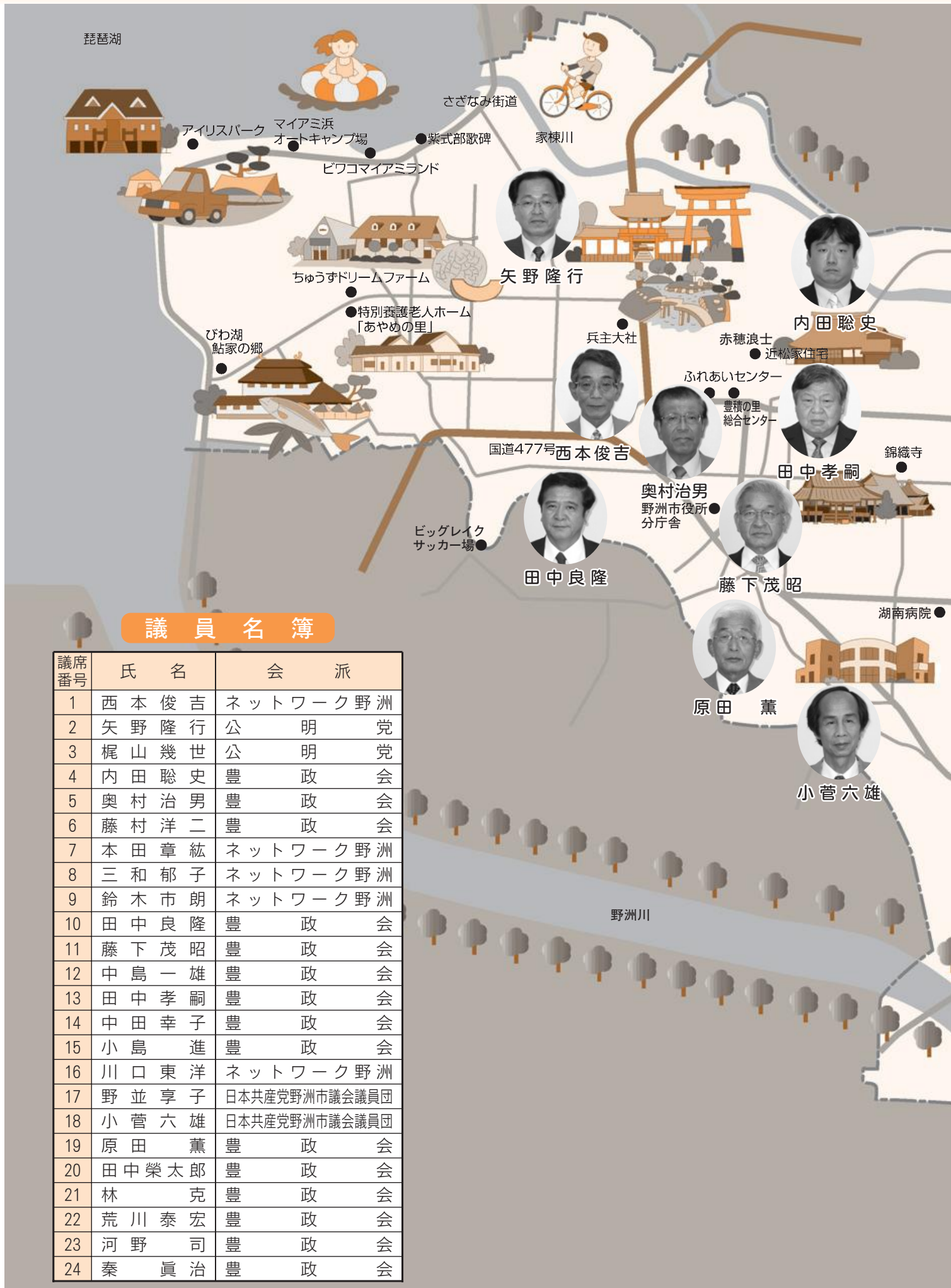
藤村洋二

本田章紘

小島 進

至京都

至栗東I.C.



議員名簿

議席番号	氏名	会派
1	西本俊吉	ネットワーク野洲
2	矢野隆行	公明党
3	梶山幾世	公明党
4	内田聡史	豊政会
5	奥村治男	豊政会
6	藤村洋二	豊政会
7	本田章紘	ネットワーク野洲
8	三和郁子	ネットワーク野洲
9	鈴木市朗	ネットワーク野洲
10	田中良隆	豊政会
11	藤下茂昭	豊政会
12	中島一雄	豊政会
13	田中孝嗣	豊政会
14	中田幸子	豊政会
15	小島進	豊政会
16	川口東洋	ネットワーク野洲
17	野並享子	日本共産党野洲市議会議員団
18	小菅六雄	日本共産党野洲市議会議員団
19	原田薫	豊政会
20	田中榮太郎	豊政会
21	林克	豊政会
22	荒川泰宏	豊政会
23	河野司	豊政会
24	秦眞治	豊政会

# 第7回 野洲市議会定例会

12月定例会は、12月5日に開会し、市長から条例の一部改正10議案、平成17年度補正予算9議案、工事請負契約2議案、指定管理者の指定34議案、人事案件1議案、その他7議案の合計63議案が提案されました。また、議員から決議2件を提出。審議の結果すべて原案のとおり可決・承認または認定しました。また、意見書が4件提出され、3件が可決、1件が否決されました。12月13日から15日に19名の議員が一般質問を行い、22日に閉会しました。

## 条例

- ◎野洲市水防協議会条例の一部を改正する条例
- ◎水防法の一部改正が施行されたため改正。
- ◎野洲市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ◎結核対策委員会委員の追加と、地縁による自治組織の名称等が変更されたため改正。
- ◎野洲市通学区区域審議会条例等の一部を改正する条例
- ◎委員規定の見直しおよび名称変更等による改正。
- ◎野洲市使用料条例の一部を改正する条例
- ◎市営住宅和田団地入居者用駐車場使用料を定めるための改正。
- ◎野洲市立幼稚園条例の一部を改正する条例
- ◎18年度から三上幼稚園においても預かり保育を実施すること等による改正。
- ◎野洲市公共下水道使用料条例の一部を改正する条例
- ◎野洲市農業集落排水処理施設使用料条例の一部を改正する条例
- ◎18年4月1日から料金一元化および料金改定を行うための改正。
- ◎野洲市都市公園条例の一部を改正する条例
- ◎都市公園法の一部が改正されたことによる改正。
- ◎野洲市営住宅管理条例の一部を改正する条例
- ◎市営住宅和田団地入居者用駐車場の名称および位置を加える改正。
- ◎野洲市水道事業給水条例

例の一部を改正する条例

◎18年4月1日から料金の一元化および料金改定を行うための改正。

平成17年度各会計の補正予算は下記のとおりです。

平成17年度補正予算会計名	増減内訳	予算総額(変更後)
一般会計	4億4,103万9千円追加	196億1,585万1千円
国民健康保険事業特別会計	2,810万9千円追加	33億4,253万5千円
老人保健事業特別会計	2億2,659万8千円追加	33億369万1千円
介護保険事業特別会計	1億1,167万4千円追加	23億4,852万6千円
下水道事業特別会計	110万8千円追加	23億6,659万4千円
野洲川農地開発事業特別会計	30万4千円追加	2,036万5千円
工業団地等整備事業特別会計	15億2,203万3千円追加	20億7,489万8千円
土地取得特別会計	214万7千円減額	5,202万7千円
水道事業会計	700万4千円減額	8億8,790万1千円

## 契約

◎工事請負契約  
 ◎コミュニティセンターなかさと建設工事の入札の結果、請負金額2億7247万5千円で請負人(株)堀光と契約するもの。

## 人事

◎野洲市北枚財産区管理会委員の選任につき議会の同意を求める  
 後藤 清澄 氏  
 坂口 德行 氏  
 関 次男 氏  
 田中 明 氏  
 川口よし子 氏  
 坂口 昭子 氏  
 平子 清美 氏

# その他

◎字の区域及び名称の変更について

○名嶋地区ほ場整備事業の結果、字の区域および名称の変更が生じたもの。

◎公の施設の区域外設置に関する協議につき議決を求める。

○県営田園空間整備事業により整備を進めている野洲川歴史公園田園空間センターを県から譲与を受けるにあたり、整備区域の一部が守山市区域内にあるため。

# 意見書

◎意見書第11号  
議会制度改革の早期実現に関する意見書

提出議員 河野 司  
賛成議員 川口 東洋  
賛成議員 小菅 六雄  
賛成議員 梶山 幾世

◎意見書第12号

「真の地方分権改革の確実な実現」に関する意見書

提出議員 川口 東洋  
賛成議員 秦 眞治  
賛成議員 梶山 幾世

## 指定管理者の指定につき議決を求めることについて

地方自治法の規定に基づき、公の施設の指定管理者を指定することにつき議会の議決を求めるもの。

公の施設名	指定管理者
(コミュニティセンターぎおう)	祇王学区自治連合会
(コミュニティセンターしのはら)	篠原学区自治連合会
(コミュニティセンターみかみ)	三上学区自治連合会
(コミュニティセンターきたの)	北野学区自治連合会
(コミュニティセンターやす)	野洲学区自治連合会
(中主ふれあいセンター)	社会福祉法人 野洲市社会福祉協議会
(野洲市ふれあい共同作業所)	社会福祉法人 悠紀会
(中主・野洲・北野・篠原・祇王・三上こどもの家)	社会福祉法人 野洲市社会福祉協議会
(中主・野洲デイサービスセンター)	〃
(野洲市老人福祉センター)	〃
(比江老人憩の家)	比江自治会
(木部老人憩の家)	木部自治会
(井口老人憩の家)	井口自治会
(吉川老人憩の家)	吉川自治会
(西河原老人憩の家)	西河原自治会
(野田老人憩の家)	野田自治会
(安治老人憩の家)	安治自治会
(比留田老人憩の家)	比留田自治会
(六条老人憩の家)	六条自治会
(八夫老人憩の家)	八夫自治会
(北比江老人憩の家)	北比江自治会
(北比江集会所)	〃
(野洲市野洲川河川公園)	財団法人 野洲市文化スポーツ振興事業団
(野洲市三上集楽センター)	三上自治会
(北比江農機具保管庫・北比江共同作業所)	北比江自治会
(葛蒲漁港・吉川港・吉川舟溜り)	中主漁業協同組合
(野洲市大型共同作業所)	野洲市(同和)産業振興会
(野洲市シルバーワークプラザ中主・野洲市シルバーワークプラザ野洲)	社団法人 野洲市シルバー人材センター
(野洲市中央公民館・中主公民館・中主公民館別館)	財団法人 野洲市文化スポーツ振興事業団
(野洲文化ホール・野洲文化小劇場・さざなみホール)	〃
(野洲市総合体育館)	〃
(野洲市中主B&G海洋センター)	〃
(野洲市市民グラウンド)	〃
(野洲市体育センター)	〃

# 決議

◎野洲市「人権尊重のまち」宣言に関する決議

提出議員 梶山 幾世  
賛成議員 秦 眞治  
賛成議員 川口 東洋

◎「豊かな自然と歴史に彩られたまち・野洲市」

平和都市宣言に関する決議  
提出議員 河野 司

検査体制、安全対策が実施されない限りアメリカ産牛肉の輸入再開を行わないよう求める意見書  
提出議員 小菅 六雄  
賛成議員 野並 享子  
否 決

賛成議員 川口 東洋  
賛成議員 小菅 六雄  
賛成議員 梶山 幾世



議会 議場

# 平成17年 第6回 臨時会

平成17年11月11日に、臨時会が開催され、正副議長の選出等の人事（P18に掲載）や、議員提出議案1議案、条例の一部改正2議案、人事議案2議案が提案され、すべて原案のとおり可決または同意されました。

## 議案

### ●議員提出分

◎野洲市議会委員会条例の一部を改正する条例  
○常任委員会の名称、所管および定数を変更するもの

### ●市長提出分

◎野洲市市長、助役及び収入役の給与等に関する条例の一部を改正する条例

◎野洲市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例  
○人事院勧告に基づき、閣議決定の趣旨に沿った改定を行うもの。

◎野洲市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて  
○委員の任期満了に伴うもの。

◎野洲市監査委員の選任につき議会の同意を求めることについて

○前委員の任期満了に伴う選任

一井 彰人 氏  
藤下 茂昭 氏

# 平成18年 第1回 臨時会

平成18年1月23日に、臨時会が開催され、市長の委任専決処分の報告3件、補正予算1議案、土地の取得1議案、議員提出議案1議案が提案されました。審議結果は次のとおり。

## 議案

◎平成17年度野洲市一般会計補正予算

○歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2846万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ196億4431万3千円とするもの。

可決

◎土地の取得について

○（仮称）野洲市学校給食センター建設用地として八夫字七ノ坪地先10541㎡の土地を1億846万6890円で取得するもの。

可決

### ●議員提出分

◎野洲市議会議員定数条例

○次の一般選挙から議員定数を18人とするもの。

否決

# 常任委員会審議内容

## 総務

## 務

●野洲市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

務局で十分検討する。  
●平成17年度野洲市一般会計補正予算(第5号)中、総務関係

問 付則の野洲市道に関する条例の一部改正について、申請書を要望書に改める趣旨と改正による実行性への影響は。

問 全国高校サッカー選手権大会助成金として50万円補正されるが、その根拠は。  
答 前回、旧野洲町時代に野洲高校が出場したときに準じて同額にした。

答 旧の条例では、申請書という記載になっていたが、実質は自治会から要望という形で提出いただいており、実態に合うように字句訂正を行うもの。また、各要望については、従来から具体的な施策や予算に反映できるように調整しているのが問題はない。

問 今後、さらに繰上償還すべきでは。  
答 現在金利が安いので、できれば高利率の分は、財源調整の関係もあるが、繰り上げていきたい。

●野洲市通学区区域審議会条例等の一部を改正する条例

●工事請負契約（コミュニティセンター）なかさと建築工事  
問 太陽光パネルを設置されるが、容量と年間還元される電気代は。  
答 342㎡、17.28kWの太陽光発電を設置し、年間約20万円の節減が図れる。

問 審議会から議会選出の委員を削られるが、審議会の定数はどうなるのか。

問 今回の工事は分離発注になっているが、電気設備工事の入札参加業者は何社で、そのうち地元

答 新たに委嘱するのか、今の任期までは欠員のままでいくのか、それぞれの審議会を持っている事

# 文教福祉

は。  
5社で、地元は3社であった。今回は近隣の

まちの業者が落ちしたが、基本は地元業者を優先する方針である。

## ●野洲市幼稚園条例の一部を改正する条例

問 預かり保育規則の6条、7条を改正せずに、三上幼稚園の預かり保育の通園時間、休業日を変更することはおかしいのでは。

答 三上地区の保護者一人にそって考えていたが、最終日に預かり保育規則の改正を資料提供する。

## ●平成17年度野洲市一般会計補正予算中、文教福祉関係

問 学童保育費運営費の増額は。

答 入所児童数が4月に355名から449名に増え、指導員の雇用をしたため。

問 学校施設の屋外障害者トイレの整備は。

答 北野小学校の来春進級する児童のために校舎内の障害者トイレの整備を図ったが、屋外の障害者トイレの整備は殆どで

きていない。今後、年次別、計画的に進めて行きたい。

問 図書館と学校図書室のデータベースの一体化は。

答 子どもたちの読書活動の推進のためにも、一体化を図りたいが、平成18年度の当初予算の中で、3年次計画ぐらいで進めて行きたい。

問 児童の通学の安全の体制と不審者情報の扱いは(防災行政無線の活用)。

答 青少年育成会議の下校パトロール、自転車見守り隊など協力をいただいている。不審者情報はコミセンを通じ自治会にも通知するし、また、防災行政無線の活用も検討する。

## ●平成17年度野洲市老人保険事業特別会計補正予算

問 老人医療の地域の特徴は。

答 旧中主は脳血管疾患、旧野洲は糖尿病。ともに生活習慣病で、予防に努めたい。

## ●平成17年度野洲市介護保険事業特別会計補正予算

問 施設↓在宅の国の方針で施設入所は減っているのか。

答 減っているので、3月補正をする。

## ●指定管理者の指定につき議決を求めることについて

問 公募が2施設あったが、選定委員会の人選に問題はなかったか。

答 今回は、外部委員と内部とのミックスした形で選定委員会を行い、選定にあたった。原則公募の方針であるが、プロパー



野洲図書館

職員が在籍しているところは慎重な対応をしている。今後は、専門性をもった判断が必要となった場

# 環境経済建設

## ●野洲市公共下水道使用料条例の一部を改正する条例

問 下水道料金改定の要因は。

答 公衆衛生の向上と公共用水域の水質保全を図るため、今日までに集中的に下水道事業を実施した。

そのための起債償還がピークに達すること、当初敷設した下水道管や処理施設の老朽化に伴う維持管理の増大に対処するため。

また、平成16年度策定した下水道経営計画に基づき、一般会計からの繰入金を抑え、安定的な下水道運営を図るため。

## ●平成17年度野洲市一般会計補正予算中、環境経済建設関係

問 労働費：就労支援相談員の具体的な業務内容は。

合は、委員構成については、考えていく必要がある。

答 湖南地区4市で進めている同和地区住民、障害者、ひとり親家庭の保護者などの就職困難者に対し、市の就労支援計画に基づき、就労へと導くための相談業務などを行うもの。

## ●公の施設の区域外設置を求めることについて

問 公の施設の区域外設置とは。

答 野洲川改修で確保した用地に、県が実施する田園空間整備事業で、田園公園を整備する計画があり、その管理棟が、野洲市と守山市にまたがった位置にある。行政界を超えて公の施設があるために、議会で議決を経て、両市で協議するもの。

## ●その他

問 まちの駅構想の進捗状況は。

もあったが、主要施設による一極集中の展開と既存施設を有効利用したネットワーク化する展開の二通りが考えられる。どのようなコンセプトが当市に合うのか調査研究中であり、そのための業務委託を実施している。



田園センター

# 一般質問



&



# 市のゆきえは

— 12月定例会、19名の議員が質問 —

## 三上小学校前交差点に

## 右折信号機を

藤村洋二



**問** 先日、県道野洲・甲

西線の三上地先でダンブカーによる死亡事故があり、残念でならない。

この事故の犠牲になられた女性に報いるためにも、野洲市としての一日も早い渋滞解消策と安全確保を要望し、野洲市の考え方と取組みについて問う。

- ① 今回の事故に対する市としての考え方
- ② 県要望への取組みを時系列で具体的に（昨年4月より現在まで）
- ③ 三上小学校交差点信号機設置と改良工事の進捗状況
- ④ 通学路の安全対策（歩道の整備）
- ⑤ 国道8号バイパス完成までの対策について（小山川、大山川右岸堤防のバイパス化など）

**答** ①事故は野洲・

甲西線の渋滞が一因であると真摯に受け止め渋滞解消に努める。

②昨年4回、本年4回県、湖南振興局に要望活動を行った。

③本年3月に地元承諾のもと守山警察署に三上小学校前交差点の右折信号機要望、今年度内に信号機の改良予定となっている。交差点改良（右折だまりの設置）は公安委員会の指導もあり実施できるよう県と協議する。

- ④通学路の安全対策、歩道の設置は県へ強く要望する。
- ⑤国道8号バイパス完成までは、提案の小山川、大山川堤防利用などを含め検討する。

## 右折信号、年度内に設置する

都市建設部長



改良待たれる三上小学校交差点

### その他の質問

- 「市民が主役の環境行政」に
- エコドームの建設を要望

### 篠原駅前住宅道路の県道48号、2号線の安全対策は

矢野隆行

**問** 県道48号線の篠原駅前団地前危険通学路の歩道整備なぜされていないのか。

県道2号線、ドラック

**答** 県道48号線の篠原駅前団地前付近信号機設置について、死亡事故が多発しているにもかかわらず取り付けができないのか。

### 平成20年4月までに整備 都市建設部長

**問** 県道48号線の小篠原団地前県道は、平成20年4月開校予定の県立養護学校整備に合わせ、県により篠原駅から光善寺川まで約650メートルを整備される予定。その先の小南交差点ま

での区間についても、今後県に対して強く要望していく。信号機は、県下で600件近く要請があり、今期中の設置計画はない。今後強く県に要請していく。

### 車椅子の人に配慮を

**問** 車椅子を使用されておられる障害者・高齢者の方が、市内を自由に安心して移動するためには、トイレ設備がどの程度設置されているのか。また、

その場所のトイレマップは発行されているのか。市内のコンビニ等の小型店舗には、障害者用トイレが設置されていないのはなぜか。

### 障害者用トイレの周知をしていく

**答** 観光トイレマップは、

市民健康福祉部長 滋賀県で発行しているの



光善寺川橋の通学路

で市役所の窓口で対応している。

コンビニは、建築基準法で百㎡以下の建物に設置義務がない。

### その他の質問

**問** 障害者自立法案にて、どこまで周知されているのか。今後どのように進めるのか。

**答** 認定審査会の設置等準備を進めている。

**問** 永原団地四棟の耐震性水漏れについてどうか。

**答** 耐震検査を行い問題ない。水漏れについてはそのつど対応していく。

### ハートプラスマークの活用で 内部障害者への支援を

梶山幾世

**問** 2001年8月の国の調査によると、身体障害者324万5千人のうち、内臓機能の障害によって身体障害者手帳の交付を受けている内部障害者は84万9千人、4人に1人を占めている。

目に見えない障害のため社会的認知が低く、電車等の優先席に座ると冷

たい目で見られたり、職場で体調を崩し退職に至るケースがある。打開策として、ハートプラスマーク作成による支援活動の普及がスタート。本市においても障害者が安心できるよう窓口への設置、啓発、配慮マニュアルの活用が必要と考え

### 窓口への設置・啓発に努める

市民健康福祉部長

**答** ①ハート・プラスの

マークは、平成15年11月に内部障害者に思いやりの心をもって接してほしいとの願いから生まれた活動である。今後、広報やホームページ等を活用し啓発に努め、窓口にも設置する。

②配慮マニュアルの活用は研修等を実施し、相談しやすい環境づくりに努める。

### その他の質問

**問** 子どもの読書活動推進計画の策定を。

**答** 旧中主町の推進計画を基本に検討改訂し、市の推進計画策定を進める。

**問** 登下校の安全確保と市外近隣校通学の配慮を。

**答** 通学区域を基本に保護者との相談に応じる。



内部障害者に理解を深める



ハート・プラス

http://www.normanet.ne.jp/~h-plus/

Copyright (C) 2004 heart plus mark project. All rights reserved.

ハートプラスマーク

# 農政大改革に

## どう対応するのか

田中良隆



**問** 19年度から始まる農政改革は、戦後農政の中で最大の改革である。きっちり準備しておかないと、大混乱が起る。

国も県も、この農閑期に、説明会を開き、対策を浸透させ担い手を育てるよう強く指導している。

本市でも12月に入りいくつかの集落で、集落営農検討会を行っているところではあるが、事務的な制度説明に終わっている。市としてのビジョンを示し、集落ごとの事情を分析したうえで、何回

も集落に足を運ぶべきであるのに、市としてのビジョンが描けていない。これは兼業農家だけでなく、専業農業者にとっ

### ビジョンは集落営農と認定 農業者とのバランスに配慮 環境経済部長

環境経済部長

**答** 現在は、経営所得安定対策等大綱の周知徹底の段階であり、今後数回の検討会が必要と考えている。

集落の今後の向かうべき方向を提案し、各

ても死活問題である。早急にどちらもともに成り立つビジョンを作り、本市の農業を発展させねばならないがいかがか。

集落での話し合いに基づき、認定農業者の確保、集落営農の組織化、機能強化を推進したい。ビジョンについては、野洲市水田農業推進協議会において、見直しを行なう予定であり、認定農業者の規模拡大意欲が阻害されることのないよう、集落営農とのバランスにも配慮し、担い手の確保・育成に努めたい。



転作小麦の刈り取り

# 野洲市に

## 「教育の日」制定を

中島一雄



**問** 「教育の日」の趣旨は、市民の教育への関心を高め次代を担う子ども達の教育に関する取り組みを市民全体で推進し、市における教育の充実と発展を図ることを目的とする。

一、重点的に実施する期間として毎年何月一日を含む一週間を「野洲市教育週間」とする。

一、市内各幼・小・中学校および教育関連団体が「教育の日」の趣旨を踏まえて、授業公開や記念行事等を行う。

一、実行委員会を組織し、啓発・推進を図り諸行事を実施する際、相互の連携・協力をする。

以上のことについて、教育長の考えを伺う。



ふれあい遠足教室（祇王小）

### 11月3日文化の日の 前後に設定を考えた 教育長

教育長

**答** 複雑多様化する社会の現状を考えると時宜を得たもので大いに賛同する。期日として

11月3日文化の日の前後に設定してはと考える。

実を図りながら実施してはと考えている。

一、実行委員会の組織化よりも教育委員会の主導のもとで取り組みたい。

一、記念行事や授業公開等は教育の日の意義が市民に広く認識されるような内容として既存事業の有効活用と充

啓発・推進を図るための相互の連携・協力は提言の趣旨を捉え、教育関係団体に強く呼びかけたい。

# なぜ資源ごみ

## 回収奨励金の廃止

本<sup>ほん</sup>田<sup>だ</sup>章<sup>あき</sup>紘<sup>ひろ</sup>

**問** 分別回収促進の施策

であり、参画している市民活動団体67団体の資金源となっている「資源ごみ回収奨励金制度」が一方的に廃止されることは、市政の理念である市民協働に反するものである。

**答** 市民活動団体との協議

の経過および市民活動で回収している資源ごみをなぜ業者に委託金を払って回収するのか。制度廃止の目的と委託金の詳細について説明を求めらる。



二重投資になるため廃止する。

各種団体への支援については今後の課題と考えている。

# 指定管理者制度の

## 課題は

西<sup>にし</sup>本<sup>もと</sup>俊<sup>しゅん</sup>吉<sup>きち</sup>

**問** 指定管理者制度は、

きびしい自治体財政のもとでの「行政経費の節減」と「民間活力」の導入が目的。しかし市民サービスが低下しないか配慮も大切だ。この観点から制度の市民におよぼす影響

**答** について伺う。

①指定管理者を公募し2以上の応募申請に対し、選定委員会が行なう選定方法・基準について、②施設利用者に対して、心のケアが必要となる施設の場合の対応策は。



③委託・直営施設を指定管理者施設に移行するとき、その施設で働いている職員の就業の機会はどうなるのか。

# 今後は行政回収で実施

市長・環境経済部長

**問** 「資源ごみ回収奨励金制度」は、団体活動の運営補助を目的とするものでなく、ごみの減量化と資源ごみ回収と回収奨励金制度の

収体制を確立することであり、すでに目的を達成している。市としては、行政回収と回収奨励金制度の

# 国の認定事業である

## ふるさとの川整備促進を

**問** 「ふるさとの川野洲川整備事業」の現状と今後の見通しについて伺う。

後

# 住民に親しまれる整備が必要

市長

**答** 「淀川水系流域委員会」の厳しい意見はあるが、すでに設置している公園等も含めて、

地域住民に親しまれる整備も必要と考えている。



ふるさとの川野洲川整備事業



野洲市ふれあい共同作業所

# 市民サービスの向上と

## 財政コストの削減

総務部長

**問** ①選定方法

は現在のサービス水準、または、市として確保すべきサービス水準を基準とした絶対評価を考

**答** ①選定方法

は現在のサービス水準、または、市として確保すべきサービス水準を基準とした絶対評価を考

えていた。しかし今回の公募施設に、2団体のみの応募があり、現在の管理委託中の団体と比較し、相対評

# 今後の営農施策は

三和郁子



**問** 本年農水省は、戦後農政を見直す指針を示した。

- ① 農政改革対応の行政手腕が問われる。所見は。
- ② 野洲市の農家の91・5%が兼業農家。施策は。
- ③ 兼業農家と非農家を組み合わせた『ヘア・ファーム・システム』を提言。所見は。

## 農業改革に

## しっかり取り組む

環境経済部長

**答** ① 国の各種施策動

向に遅滞のない営農基盤構築に努力する。また、現在取り組み中の『担い手育成4事業』を引き続き18年度予算措置を検討。

② 『担い手』の一員となって頂く方途も模索し

安定化に努力する。

③ 提言も参考にし、総合的な施策構築に努力する。



# こどもの安全施策は

## 安全確保に全力で取り組む

教育部長

- 問** 相変わらず尊い命が奪われ続けている。
- ① その防衛、防犯、警戒に怠りはないか。
- ② 危険箇所の予知警戒が抑止の決め手。家庭危険マップ作成を提言。所見は。

**答** ① マニュアルの見直しや不審者対応の研修を実施。また、集団登下校の徹底や地域と連携し対応する。

② 提言も検討し、さらに防犯強化に努める。

### その他の質問

- ① 平成18年度予算編成
- ② 福祉と安全に関し、介護保険料、公共施設の asbestos、小林立製薬跡地開発

# 子どもたちの

# 心の教育は

田中 栄太郎



**問** 去る11月19日、本市において、全国義民サミットが開催された。その時の出席者には郷土の偉人という小冊子が配布され野洲市の誇れる偉人の伝記が記載された。

野洲市の学校教育においてもこの偉人たちについてどれ程の子どもたちが知っているだろうか。学校が荒れる、子どもがしつけができない等の社会環境の中にあつて、今一度このような偉人の成し遂げた足あとについて学ぶ時間を持つことにより、心の教育ができる

と思う。

本市では、子どもたちにこのような事を教え、心の教育を学校教育の環境としてどのように伝えていくのか何う。

# 豊かな感性を養う

# 教育をめざす

教育長



郷土の偉人

**答** 豊かな人間性を育む教育の充実、学校教育における重点目標であり、実現に向けて、道徳の時間を要とする計画的・組織的な心の教育の推進に取り組んでいる。

『郷土の偉人』を教材として活用する学習を教育課程に位置づけ、郷土愛を培い、先人の心を受け継ぐ教育を推進する。

郷土文化に関する教職員研修を実施する。今後、心の教育の充実に努め、郷土の偉人や、その心を受け継ぐ周囲の大人に、心から感謝できる豊かな感性の子どもたちを育てていく。

郷土の偉人や郷土史・

# 不登校児童・

## 生徒の支援は

内田 聡史



**問** 野洲市では不登校児童・生徒支援の一環として電話によるカウンセリングや適応指導教室等を行っているが、その数が大きく減少しない事からまだまだ不十分であると

考えられる。

本市において今後の支援の進め方を伺う。

また近年では電話や対面相談の他に電子メールを利用した方法が新たなコミュニケーション方法

として有効であるという研究結果が出ている。本市においても従来の方に加え電子カウンセリング方式を併用することでより効果が期待できるのでは。

# 的確な状況把握と

## 決め細かな取り組みを

教育部長

**答** 不登校問題は本市

においても大きな教育課題である。と現状を真摯に受け止め生徒指導担当教員を中心に連絡協議会を開催し児童・生徒の状況、関わりについて共通理解を深めている。

クーリング・ケア・サポート」を学校の実態に即し継続配置する。

電子メールを利用した相談システムは現在のところ実施する計画はない。

さらに市内全中学校に、生徒およびその保護者の相談役として「オアシス相談員」を配置。

また、県教委の助成で小学校に「小学校心のオアシス相談員」ス



ふれあい教育相談センター

# 安全なまち、安心できる

## 市民生活の確保は

川口 東洋



**問** ①「野洲市地域安全連絡会議」は機能しているのか。また、会議での議論は。

委員構成、開催状況、施策の調整、関連団体の連携、情報交換は。

②交通安全対策会議の開催状況、議論内容は。

「野洲市交通安全計画」の内容および周知は。

**答** ①関係団体の代表者、守山警察署の生活安全課、行政関係課等で組織し、緊急会議を12月9日に開催。それぞれの取り組みを報告し、協力体制の強化、情報交換、今後の会議の持ち方等を協議。

②5年に一度開催し、諸施策の大綱を定める。各種の交通安全教育のな



幼稚園での防犯・交通安全教室

# 障害者自立阻止と

## ならない支援法を

**問** 障害者自立支援法について

①支援水準について、24時間制度、ガイドヘルパー

等での県単位の統一は。②認定審査会のあり方について、本人出席（特に若年障害者の）は。③在市の障害者の平均年収の把握は。

# 本人の意向を尊重

市民健康福祉部長

**答** ①今後県下の状況を踏まえて決定する。

②本人の出席を求めることはないが、本人の意向

や状況を十分に受け止めながら進める。③課税状況について把握しているが、平均年収の

把握はできていない。障害基礎年金や特別障害者手当で、就労賃金等を見込んでいる。

# 不審者情報の 連絡網等は

奥村治男

**問** 子どもが安心して学校生活を送るには、不審者に関する情報は、学校・地域・家庭・警察等の関係機関が共有化しておく必要があります。地域ぐるみで子どもを守り育てる環境づくりが大切である。

10月、11月下旬に吉地八夫地区で発生した不審者出没は地元自治会長には知らされず、旧中主町で策定した連絡網が活かされなかった。

事件が多発している時期に危機管理意識が欠如しているのではないか。

①不審者情報連絡網は。

②通学路の点検および対策は。

③下校時間帯の防犯パトロールや自主防犯組織活動の支援策は。

## その他の質問

- 少人数編成と逆行する40人学級編成について。
- 野洲川斎苑葬祭棟の建設について。
- 地域福祉計画の策定について。

# 子どもの安全対策 早急に実施する

教育長

**答** 旧中主町の連絡網は承知していなかったため早速整備し、今後7箇所のコミセンから自治会長へ流すように検討する。

- ②12月末までに全学区の通学路の確認および危険箇所の点検を実施し、安全マップを作る。
- ③地域安全リーダーやPTA不審者対策部・保護者、スクールガード等の協力を得て安全対策に取り組む。



下校時の児童(木部地先)

# 国民健康保険税の引き下げと 医療費減免制度実施を

小菅六雄

**問** 国民健康保険法第44条では、所得の低い人、失業や病気で就労が出来ない人に対して、医療費

3割負担分の減額・免除を行なう規定がある。ところが本市では、法律で制度が定まっているにもか

かわらず、長年に渡り実施を怠っている。早期に減額免除制度を実施すべきである。

# 国保運営協議会で 方向性を出したい

市民健康福祉部次長

**答** 県下の都市保険年金連絡協議会においても検討課題となっている。本市においては、

国保運営協議会で議論し、一定の方向性を出したい。

# 新幹線新駅への負担は やめるべきである

**問** 新駅への負担は野洲市で2億6900万円、

県全体では240億円となっている。市民からは強い批判がでており、

「建設の是非を問う住民投票条例制定を求める署名」に野洲市でも3000筆を超える署名が寄せられている。市長は、市

# 8月の臨時議会で負担は 認められた

市長

**答** 8月の臨時議会で負担を認めていただいた。これを考え直すことは考えていな

い。工事協定の時期はスケジュールに沿って進められるものと理解している。

## その他の質問

- 「平成18年度野洲市予算編成について」
- 「児童・生徒の安全対策について」



国民健康保険関係法令例規集



# 道路整備は

林 はやし  
克 まさる

**問** ①田園交流基盤整備

事業の道路整備の進捗状況と篠原駅周辺整備について、この道路は駅舎の早期改修、周辺整備の要因になると思う。

一日も早く完成し、駅舎の早期改修と周辺整備を期待しているが考えを伺う。

②県立養護学校の移転に伴う道路の整備について、進入路の工事が始まったが篠原駅から小南地先に至る道路は歩道がなく危険である。歩道整備につ

いて伺う。

③日野川改修の進捗状況について、状況と工事は計画どおり進んでいるのか。



整備の進む道路



## 平成20年4月までに整備

都市建設部長

**答** ①野洲地域の用地は

すべて買収済。来年度には舗装整備予定。篠原駅の改修は、篠原駅周辺都市基盤整備推進協議会により、JR西日本京都支社と協議を進めている。

駅周辺のまちづくりについては策定中の総合計

画や国土利用計画、また都市計画マスタープランの中で方針を示していく。

②県道の歩道整備では、平成20年4月の養護学校開校にあわせ、篠原駅から光善寺川まで整備される予定。小南交差点までの区間は、今後県に要望

する。

③現在、県道の迂回路の切り替えが完了し、小南高架橋の取り壊しに移っており、下流からの護岸工等をおこない、平成20年に完了予定。

# 介護保険は

野 の  
並 なみ  
享 きょう  
子 こ

**問** 施設入所やショート

ステイなどの居住費や食事代の全額自己負担が導入され、これまでの2倍になり、サービスを削減する人も出ている。利用料の7割を補助すべき。

来年度から老年者控除の廃止や定率減税の半減、さらに公的年金控除の縮

小、非課税限度額の廃止

という四つの改悪が同時に行なわれる。これに伴い、非課税世帯が課税世帯になる人も多数生まれ、介護保険料が2倍になる。減免制度が必要。

また保険料を所得に依じた定率制にするか、段階を細分化する必要がある。

## 定率制は保険制度上ない

市民健康福祉部長

**答** 受益者負担の原則、

公平性の観点から導入は控えるべき。

四つの税制改定で65歳

以上は3857人が影響を受け、1億2200万円増税となる。減免は難しい。定率制は保険制度上

## 小学校卒業まで

医療費の無料化を

**問** 就学前まで医療費無

料化が行なわれており、多くの市民が喜んでいる。

小学校卒業まで無料化を実施している自治体では3700万円の予算で

## 考えていない

市民健康福祉部長

**答** 現在のところ小学校卒業までの無料化は考えていない。

きている。子育て支援や街づくりのためにも六年生までの無料化を求め



施設風景



# 登下校時の安全対策と 学校での指導は

田中孝嗣



**問** ①文部科学省は全国の教委などに登下校時のパトロールの強化を求めたと聞かすが、野洲市の取り組みは。

②先日の中主地先での不審者の件についての取り組みは。

③文部科学省が推進する「スクールガード」養成についての取り組みは。

④指導方法や教育に関する保護者からの窓口は。

⑤学校評議員の活動内容は。

⑥教育研究室の指導内容は。問題点の有無と先生や学校からの相談件数は。

## 指導の徹底と関係機関との再確認 教育長

教育長

**答** ①複数人数での登下校の徹底、通学路の要注

意箇所の把握、保護者への啓発・協力依頼や児童生徒への対処法の指導等を行っている。

②市内各校園・学童保育所への情報の共有化を行い、守山警察署等と連携しパトロールの強化を図っている。

③各小学校で子ども安全リーダーやPTA等に依頼し取り組んでいる。

④担任や学年主任などが連携して窓口となる。適切な対応を指導する。

⑤授業参観や学校の方針、行事の取



児童生徒の安全確保を

# 郷土の歴史、 伝承文化の

## 住民への周知は

中田幸子



**問** 野洲市の住民は歴史や伝承文化をどの程度周知され、学校の授業にはどのように取り組まれ子ども達や住民に伝承しているのか。

①家棟隧道移築等、大切な文化財が多く壊されている現状をどう考えるのか。

## 企画展の開催や広報で掲載 教育部長

教育部長

**答** 本市には国宝2件、

国県指定の文化財133件ある。市民への啓発は、歴史民俗博物館で春秋の企画展や広報への掲載、文化財教室、遺跡の現地説明会等で周知に努めている。

学校の授業では生活科社会科、総合的な学習で取り組んでいる。

家棟隧道は耐震等、現状保存は危険性もあり、移築保存することにした。

# 市内循環バスの運行活用は

**問** 循環バスを早朝、出勤時間帯になぜ運行できないのか。この問題への

取り組み、改善点はどのように計画しているのか。

## 循環バスプロジェクト ムで検討 市民健康福祉部次長

**答** 循環バスは福祉施策

の一環として高齢者や障害者の方々の生活行動範囲を拡大し、路線バス空白地の方々にも公共施設の公平な利用機会を図る目的である。今後、循環バスプロジェクトチーム

で検討する。交通渋滞の緩和のために、ノーマイカーデーの推進や今年10月より通勤者を対象に第2、第4金曜日に一乗車全域100円で路線バス利用できる、ワンコインエコーバスを周知していく。



歴史民俗博物館での企画展



議会の動き

- 11月
  - 1日 初会議
  - 4日 会派代表者打合せ
  - 7日 会派代表者会議
  - 10日 議会運営委員協議会
  - 17日 全員協議会
  - 18日 湖南広域行政組合 議会議会運営委員協議会
  - 24日 湖南地区市議会 議長議員研修 会派代表者会議
  - 25日 守山野洲行政事務 組合議会
  - 28日 全員協議会
  - 30日 守山野洲行政事務 組合例月監査 湖南広域行政組合 議会定例会
- 12月
  - 5日 第5回定例会(第1日)
    - 本会議(議案質疑・委員付託・一部討論・採決)
    - 本会議(一般質問)
    - 本会議(一般質問)
    - 本会議(一般質問)
    - 本会議(一般質問)
    - 総務常任委員会
    - 文教福祉常任委員会

- 1月
  - 10日 湖南広域行政組合 議会議員研修(11日)
  - 11日 広報編集特別委員 会
  - 17日 広報編集特別委員 会
  - 18日 議会運営委員会全 員協議会
  - 23日 第1回臨時時 会
  - 24日 守山野洲行政事務 組合例月出納検査 県市議会議長会定 例議員研修
  - 27日 環境経済建設常任 委員会
  - 21日 会派代表者会議
  - 20日 議会運営委員会
  - 本会議(委員長報 告・質疑・討論・ 採決)
  - 広報編集特別委員 会

議長	荒川 泰宏
副議長	原田 薫
監査委員	藤下 茂昭

常任委員会

◎委員長 ○副委員長

委員会名	委員会委員	
総務 常任委員会 (8名)	矢野 隆行	内田 聡史
	藤下 茂昭	中田 幸子
	◎ 小島 進	○ 川口 東洋
	小菅 六雄	荒川 泰宏
文教福祉 常任委員会 (8名)	西本 俊吉	奥村 治男
	○ 藤村 洋二	三和 郁子
	◎ 中島 一雄	田中 孝嗣
	野並 享子	林 克
環境経済建設 常任委員会 (8名)	○ 梶山 幾世	本田 章紘
	鈴木 市朗	◎ 田中 良隆
	原田 薫	田中 榮太郎
	河野 司	秦 眞治

特別委員会

◎委員長 ○副委員長

委員会名	委員会委員	
防災防犯対策 特別委員会 (8名)	○ 西本 俊吉	矢野 隆行
	内田 聡史	奥村 治男
	三和 郁子	藤下 茂昭
	◎ 中田 幸子	荒川 泰宏
治水対策 特別委員会 (8名)	鈴木 市朗	田中 良隆
	○ 小島 進	川口 東洋
	小菅 六雄	原田 薫
	◎ 林 克	秦 眞治
交通対策 特別委員会 (8名)	梶山 幾世	藤村 洋二
	○ 本田 章紘	中島 一雄
	◎ 田中 孝嗣	野並 享子
	田中 榮太郎	河野 司
議会広報編集 特別委員会 (6名)	西本 俊吉	矢野 隆行
	◎ 梶山 幾世	内田 聡史
	奥村 治男	○ 田中 良隆

議会運営委員会

◎委員長 ○副委員長

委員会名	委員会委員	
議会運営 委員会 (9名)	梶山 幾世	三和 郁子
	田中 孝嗣	川口 東洋
	小菅 六雄	○ 田中 榮太郎
	林 克	◎ 河野 司
秦 眞治		

広域組合議会

湖南広域行政 組合(4名)	藤村 洋二	鈴木 市朗
	田中 孝嗣	田中 榮太郎
守山野洲行政事 務組合(3名)	本田 章紘	中田 幸子
	林 克	



**編集後記**

2006年の開幕ととも  
に第84回全国高校サッ  
カー選手権大会で野洲高  
校が日本一となり、全国  
に野洲の名を轟かせ、市  
民に大感動を与えてくれ  
ました。

個人の技を活かした勝  
利に学び、私たち広報編  
集委員6名の新メンバ  
ーもそれぞれの個性を活かし、  
親しみをもって読んでいた  
だけの紙面づくりに努力し  
て参ります。

広報委員会一同